

くまとり お地蔵さん巡りマップ

2021



熊取町内には、約50ヵ所にお地蔵さんがいます。
そのお地蔵さんをお遍路のように巡り、ほっこりしませんか。



桜が丘の四国88ヵ所霊場



大正時代初期に紺屋山(今の桜が丘)に、
四国八十八ヵ所霊場にちなんだ石仏を
安置し、多くの方々がお詣りしました。

青葉台の西之山大師堂



昔から西之山各所には四国八十八ヵ所に
ちなんだお地蔵さん・大師像が祀られ、
近辺からも多くの参詣者があったそうです。

野田の八つ地蔵



昭和初期まで一里塚としての大きな
一本の八つ地蔵松があったそうです。

小垣内の辻地蔵



中に7つのお地蔵さんが
いらっしゃいます。

五月ヶ丘の建武地蔵



建武4年(1337)につくられた熊取町で
一番古い和泉砂岩製の地蔵石仏です。

七山の子安地蔵



和田のまれくす堂



永楽ダム入口の道標地蔵



地図は、[A：大久保・青葉台地区] [B：桜が丘・紺屋・五門地区] [C：野田地区] [D：七山地区]
[E：小垣内・大宮地区] [F：大宮・久保・小谷地区] [G：成合・高田地区] [H：朝代・和田地区]
に分かれています。

詳しくは、『くまとりにぎわい観光協会』のホームページをご覧ください。

<http://kumatori-kankou.com/osusume/>

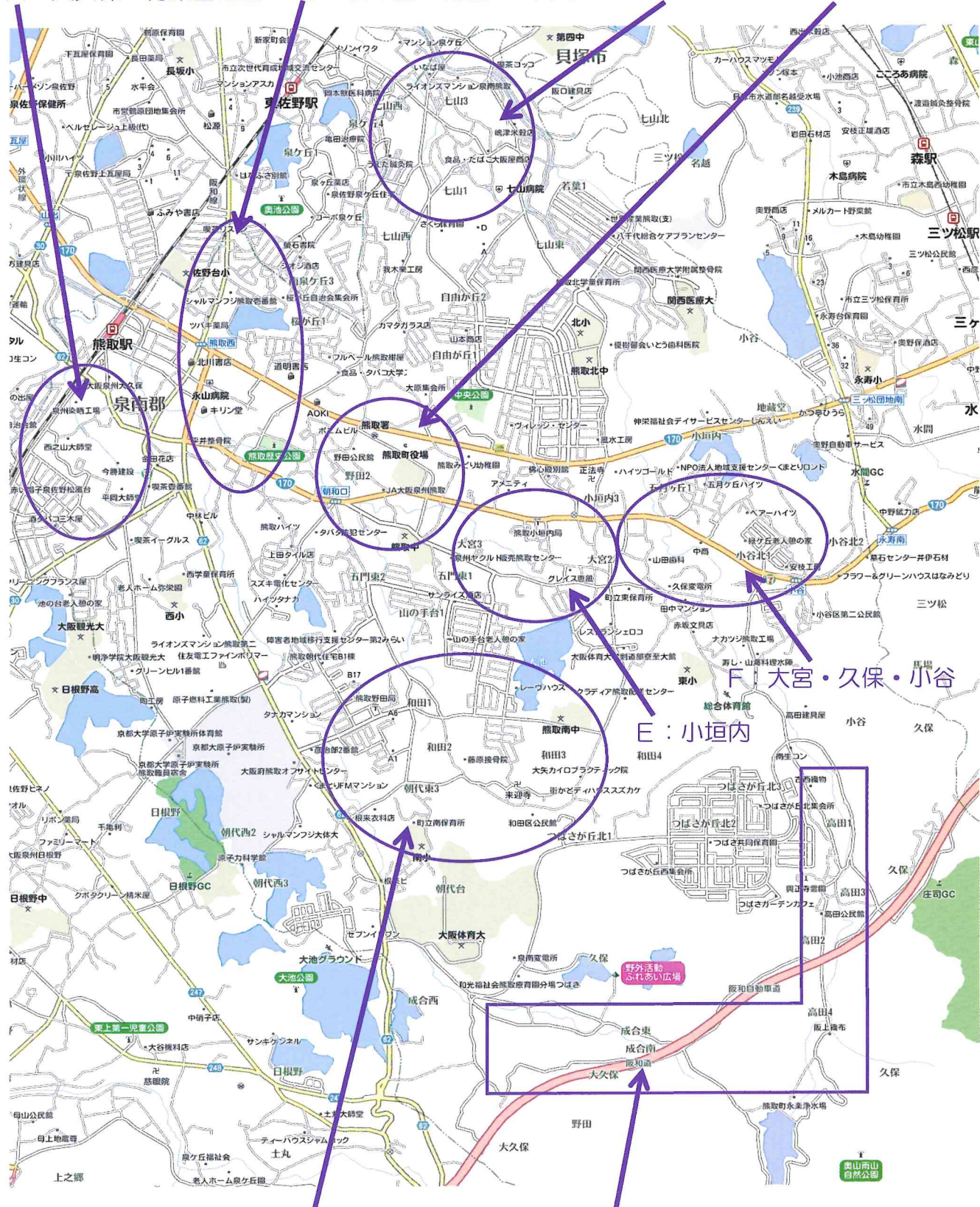
編集：(一社)くまとりにぎわい観光協会



くまとり お地藏さん巡りマップ



A：大久保・青葉台地区 B：桜が丘・紺屋・五門地区 D：七山地区 C：野田地区



H：朝代・和田地区

G：高田地区

くまとり お地蔵さん巡りマップ [一覧]



熊取町は、歴史的に信仰の篤い所で、大師講、伊勢講、金毘羅講、地蔵信仰等が盛んで、現在も町内に多数の大師堂、お地蔵さんが約五十か所残っております。熊取駅前には、レンタサイクルもありますので、一気に巡ることも可能です。また、各地区ごとをウォーキングで巡るのも趣ですし、『縁結び』のお地蔵さんもあります。さあ、熊取のお地蔵さん巡りで、ほっこりするひと時をお楽しみください!!!

全体No.	地区No.	名称	住所 熊取町	北緯	東経	文	健
1	A1	(大久保中2丁目の地蔵)	大久保中2丁目28-11	34.4038	135.3407	文	
2	A2	向田地蔵	大久保中2丁目9-1	34.4029	135.3433	文	
3	A3	白波地蔵	大久保中3丁目7-8	34.4006	135.3431	文	
4	A4	脳薬地蔵	大久保中3丁目7-6	34.4003	135.3431	文	
5	A5	(大久保中4丁目の道標地蔵)	大久保中4丁目府道62号線	34.4004	135.3433		
6	A6	西之山大師堂	大久保中5丁目2112	34.4017	135.3389	文	健1
7	A7	法禅寺の地蔵	大久保中5丁目1101	34.4003	135.3401	文	健1
8	A8	(大久保中4丁目の地蔵)	大久保中4丁目18-17	34.3990	135.3409		
9	A9	平見辻地蔵	大久保中4丁目11-1	34.3982	135.3417	文	健1
10	B1	水荘園地蔵尊	大久保北2丁目13-3	34.4087	135.3484		
11	B2	四国八十八力所霊場(阪上水神)	桜が丘2丁目1-4	34.4046	135.3499	文	健6
12	B3	火消地蔵(芳元寺山門前)	紺屋1丁目19-5	34.4027	135.3477		
13	B4	(大久保東1丁目の辻地蔵)	大久保東1丁目12-13	34.4013	135.3461	文	
14	B5	(五門西1丁目の道標地蔵)	五門西1丁目13-10	34.4006	135.3477	文	
15	B6	(五門西1丁目の地蔵尊)	五門西1丁目8-15	34.4001	135.3495		
16	B7	慈照寺の地蔵堂	五門西3丁目20-1	34.3991	135.3477	文	健8
17	C1	朝和口辻地蔵	五門東2丁目1-7	34.3988	135.3529	文	健2
18	C3	(野田 住吉川上流の地蔵)	野田1丁目22-1	34.3986	135.3568		
19	C4	(野田1丁目の地蔵)	野田1丁目10-10	34.4001	135.3583		
20	C5	(野田3丁目の道標地蔵)	野田3丁目241	34.4027	135.3569		
	番外	ハツ地蔵	野田2丁目3-6	34.3998	135.3553	文	健2
21	D1	七山西口の道標地蔵	七山3丁目1059-5	34.4172	135.3565		健6
22	D2	休場橋(やすみばし)の道標地蔵	七山東969	34.4172	135.3600		健6
23	D3	(五厘玉橋近くの道標地蔵)	七山東872	34.4151	135.6130		
24	D4	お春地蔵	七山東838	34.4139	135.3615	文	健6
25	D5	七里(子安)地蔵	七山2丁目13-18	34.4133	135.3582		健6
26	D6	七山南口地蔵	七山2丁目14-25	34.4130	135.3582	文	健6
27	E1	(小垣内2丁目の道標地蔵)	熊取町小垣内2丁目61	34.3980	135.3629	文	
28	E2	(小垣内3丁目の辻地蔵)	小垣内3丁目22-17	34.3960	135.3655		
29	E3	(大宮3丁目の地蔵)	大宮3丁目727	34.3953	135.3632	文	
30	E4	(大宮3丁目の辻地蔵)	大宮3丁目682	34.3957	135.3604		
31	F1	大森神社の子安地蔵	大宮1丁目12-9	34.3978	135.3685	文	健4
32	F2	(大宮1丁目の道標地蔵)	大宮1丁目12-9	34.3978	135.3685		
33	F3	建武地蔵(石造地蔵菩薩立像)	五月ヶ丘1丁目2-14	34.3991	135.3687	文	健4
	番外	大森神社の牛神	大宮1丁目12-9	34.3978	135.3685		
34	F4	久保の地蔵	久保1丁目10	34.3956	135.3691		
35	F5	太子堂の地蔵	久保3丁目1	34.3944	135.3689		
36	F6	(小谷北の地蔵)	小谷北2丁目2-35	34.3956	135.3769		健3
37	F7	(小谷南の地蔵)	小谷南2丁目17-16	34.3945	135.3732	文	
38	G1	(高田1丁目道標地蔵)	高田1丁目2017	34.3853	135.3782		健7
39	G2	(高田3丁目道標地蔵)	高田3丁目2303	34.3829	135.3781		健7
40	G3	(高田2丁目道標地蔵)	高田2丁目9-1	34.3817	135.3768		健7
41	G4	(高田4丁目道標地蔵)	高田4丁目2741	34.3759	135.3773		健7
42	G5	永楽ダム入口道標地蔵(対の地蔵)	野田(大字)-65	34.3752	135.3699		健7
43	G6	西方寺(東入口)の地蔵	成合東171	34.3773	135.3651	文	健7
44	G7	西方寺(南入口)の地蔵	成合東171	34.3773	135.3651	文	健7
45	G8	西方寺墓地の地蔵	成合東171	34.3773	135.3651		
	番外	池守明神(永楽池の道標地蔵)	久保(大字)	34.3641	135.3799	文	
46	H1	賽塞地蔵(さいさいじろう)	熊取町朝代東4丁目10-31	34.3854	135.3535		健5
47	H2	朝代の道標地蔵	朝代東2丁目13-5	34.3863	135.3551		健5, 9
48	H3	まれくす堂(まれくす地蔵)	南山の手台21-12	34.3901	135.3576	文	健2
49	H4	来迎寺のお地蔵さん	和田3丁目3765	34.3866	135.3615	文	健5, 9
50	H5	和田の道標地蔵	和田4丁目3299	34.3861	135.3643		健5, 9

参照資料：①熊取町文化財マップ 熊取町教育委員会

②歩いて・見て・感じて…くまとり再発見! ものしり健康歩く路 熊取町

「文」の欄は「①文化財マップ」「健」欄は「②健康くまとり探検隊のシリーズNo.」に記載。

[A] 大久保、青葉台地区



[A1] 大久保中の地蔵



[A2] 向田地蔵



[A3] 白波地蔵



[A4] 脳薬地蔵



地蔵堂の右手前の石柱に、経文の一節「しいかんぜおん のうやくじどうぼさつ」と彫られている。

[A5] 大久保区墓地の道標地蔵

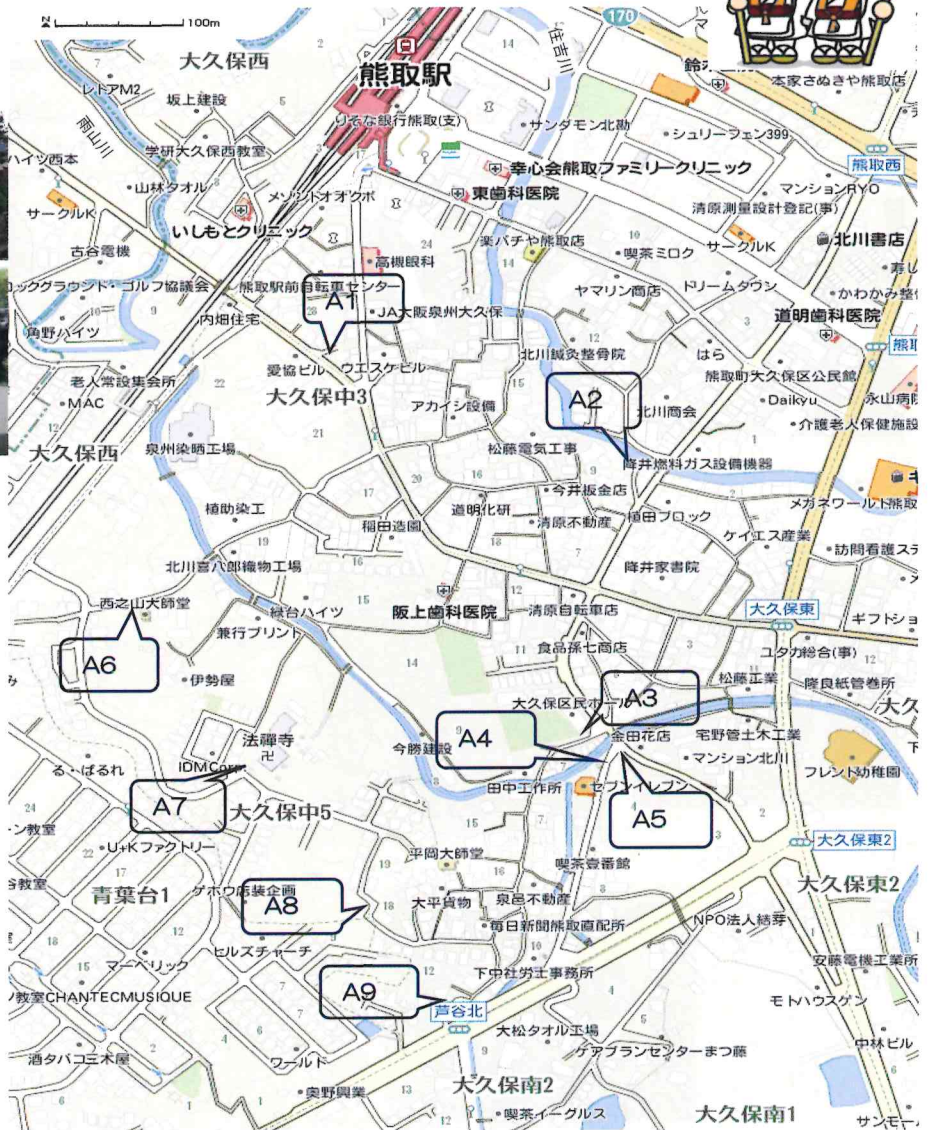
砂岩の地蔵で粉河街道辻にあったものを移したといわれています。墓地の階段を3m程上った左側に祀られています。



[A7] 法禅寺



境内には江戸時代後期の文人里井浮丘(泉佐野湊出身)の筆塚があり、その左右にお地蔵さんを祀っています。



[A6] 西之山大師堂

昔から西之山各所には四国八十八カ所にちなんだ地蔵さん・大師像が祀られ、近辺からも多くの参詣者があったそうです。1974年の青葉台の宅地開発時に、それらは西之山大師堂境内に集めて祀られています。



[A9] 平見辻地蔵



昔の西犬鳴街道沿いにあり、旅の安全を見守った辻地蔵。

[A8] 青葉台下の地蔵



青葉台の宅地開発時に、周辺のお地蔵さんを西之山大師堂境内に集めましたが、屋根で囲われた祠に入っているものは、そのままその地点に残しました。そのうちの1つ。第三十口番と読めます。



(筆塚↓)

[B] 桜が丘、紺屋、五門地区

[B1] 水荘園地蔵尊

延命・子安地蔵です。
(1970年頃に祀られました)



[B3] 火消地蔵

紺屋地区の防火のためのお地蔵さん。



[B4] 辻地蔵



[B5] 道標地蔵

左 水
右 大木
間



[B6] 道標地蔵



[B7] 慈照寺の地蔵堂

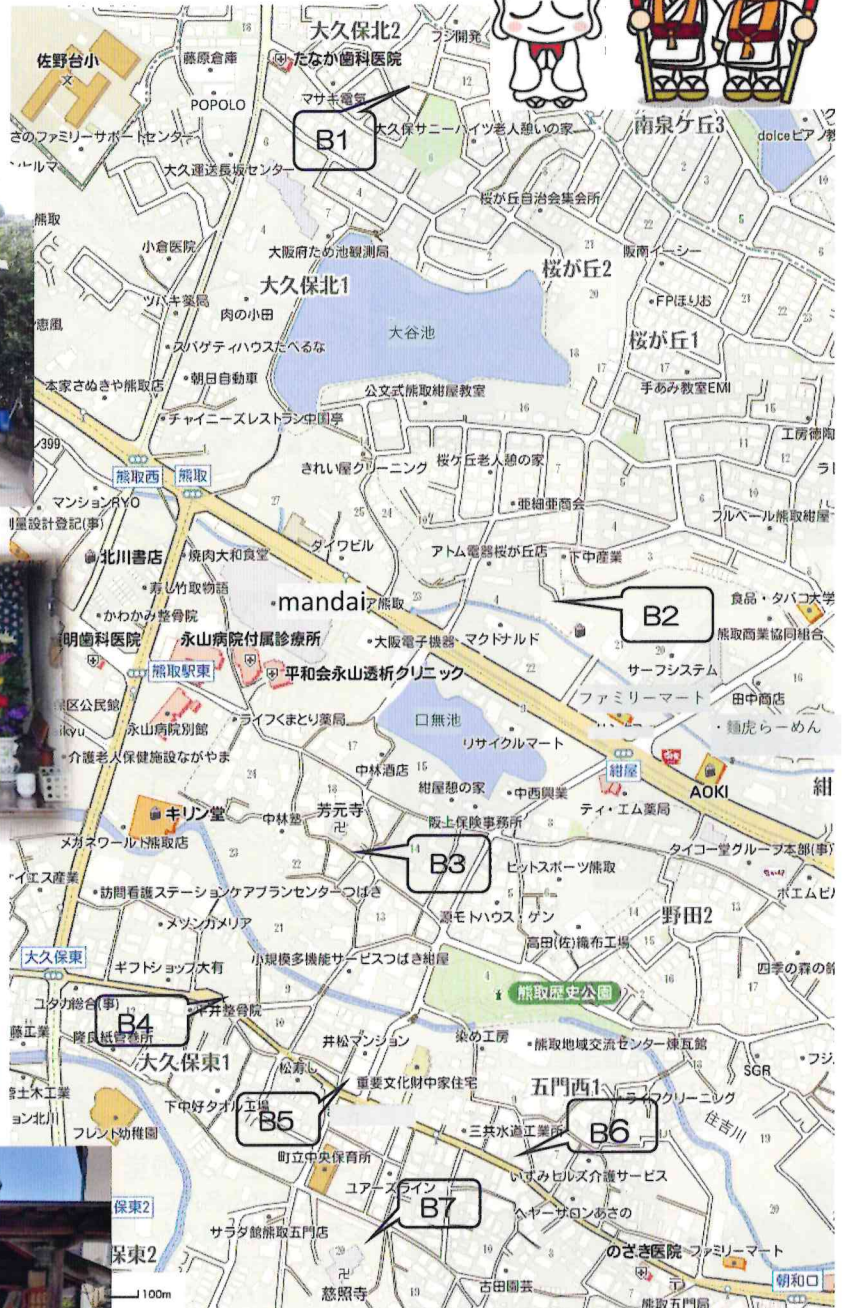
本堂の左横が地蔵堂（通常は閉まっています）



五門地区にあったお地蔵さん3体をここに集めて祀っています。右側のお地蔵さんは対の道祖神です。道祖神は、外敵や厄災の侵入防止はもとより、縁結び、安産、子孫繁栄の神様です。

[B2] 阪上水神と桜が丘の四国88か所霊場教会の隣にあります

大正時代初期、紺屋在住であった故阪上亀吉翁は、持山であった紺屋山（今の桜が丘）に、四国八十八か所霊場にちなみ、山の道沿いに石仏を安置しました。昭和の中頃まで、熊取周辺からもお詣りが絶えなかったと伝えられています。1964年の桜が丘の宅地開発時に、八十八の石仏は桜が丘南斜面の木立の中に集められ、現在も祀られています。



[C] 野田地区

[C1]朝和口辻地藏



水間寺への参詣のための道標地藏。

[C2]住吉川そばの地蔵

ガレージの奥に大切に祀られています。



[C3]野田村中の地蔵

柵で囲まれた敷地に祀られています。



[番外編] ハツ地藏

熊取中央小学校の南門横
手の溝沿いの畦道(あぜみ
ち)を少し入った所。

昭和初期まで一里塚としての大きな一本のハツ地藏松があったそうです。この祠には七つのお地藏さんが祀られています。祠には7つしか入らなかったため、残りの1つは大原に持っていったそうです。

※ハツ地藏までは幅が狭く
高低差のある畦ですので、
畦道は歩かず遠目に見てく
ださい。



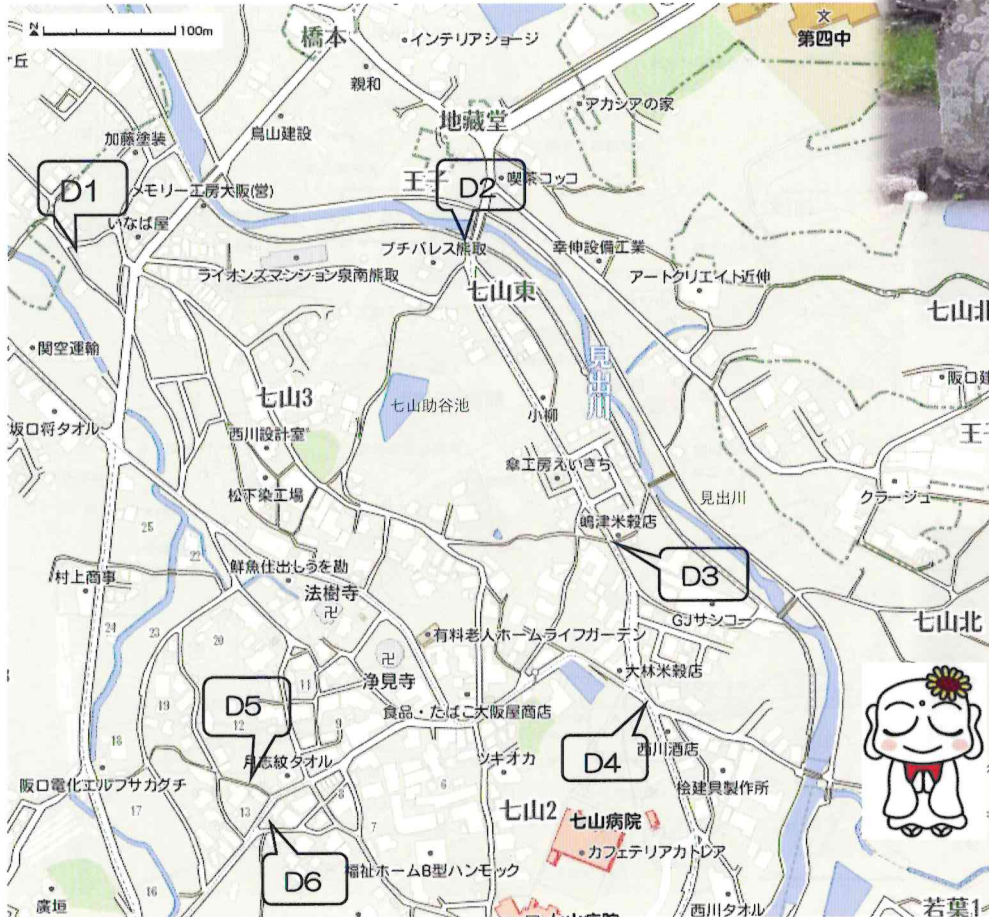
[C4]道標地蔵

七山からの古道 水間道にあった
道標地蔵で、以前は大原池の隅に
あったものをここに移したそうです。



[D] 七山地区

[D1]七山西口の道標地藏



[D2]休場橋の道標地藏



[D3]五厘玉橋近くの道標地藏



高さ50cmくらいの小さな祠です。

[D6]七山南口地藏(道標地藏)



左右
高田 大木

[D4]お春地藏(道標地藏)



[D5]七里(子安)地藏

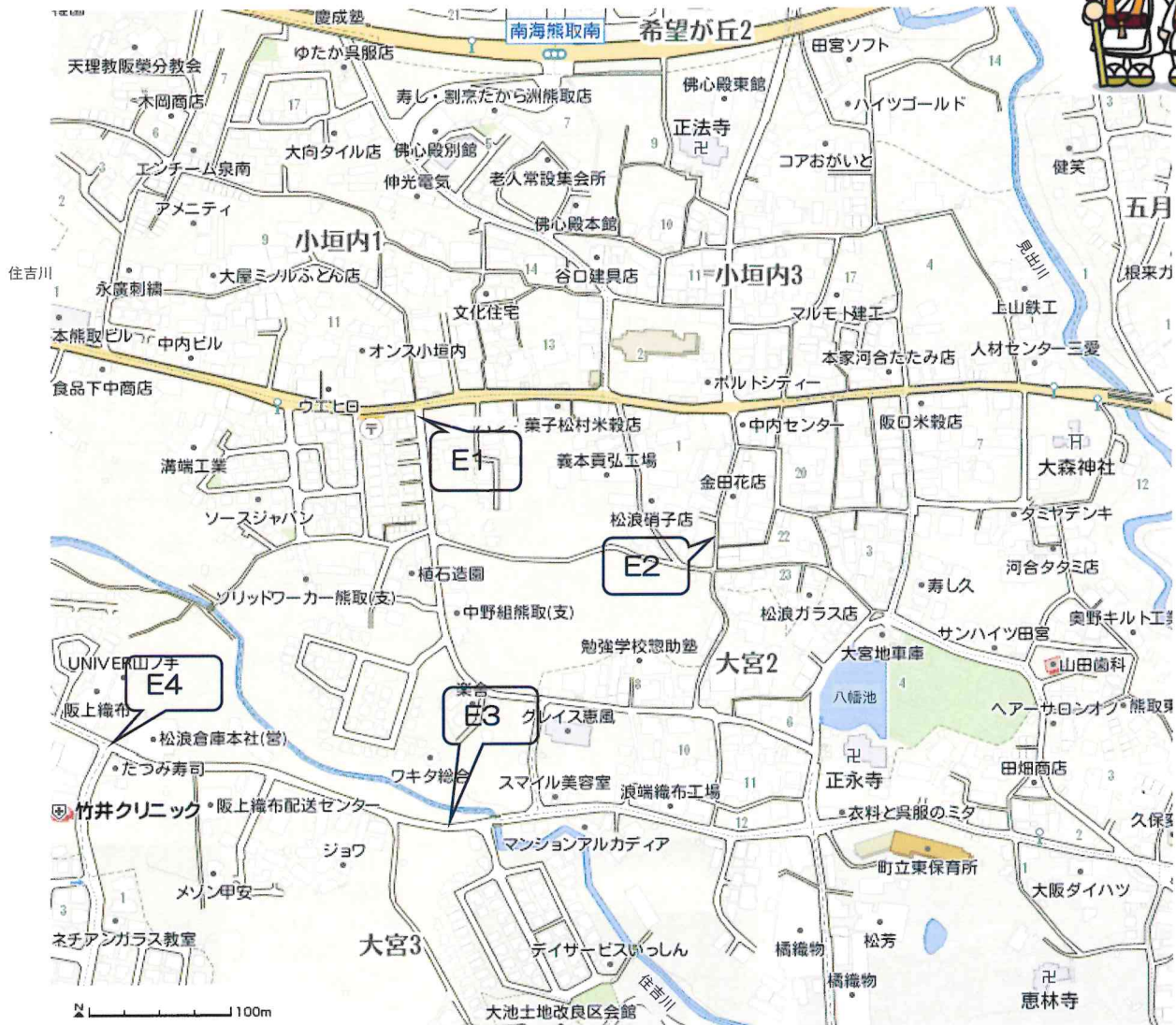


歯痛地藏：歯痛が直る
いつの頃からか、お春地藏
と呼ばれています。
また、貝塚(清見)から七山の
沿道には歯痛地藏が点在し
ています。

七山には、道標地藏が五つ
ありますが、その一つです。

子安地藏。
七里の由来：七山は大小七重に広
がる丘陵地帯で七里山村と云われ
ていました。また、神戸の波打ち
際で発見したお地藏さんをはるば
る海を渡って七山まで運んだ、こ
の距離が7里(約30km)だったか
らという説もあります。

[E] 小垣内、大宮



[E1]道標地蔵

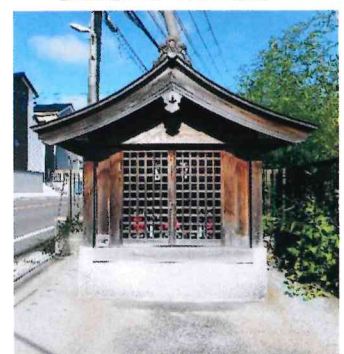
左 水間寺
右 大浦・和田



[E2]小垣内村中の地蔵



[E3]大宮の地蔵



お堂には、6体のお地蔵さんが祀られています。

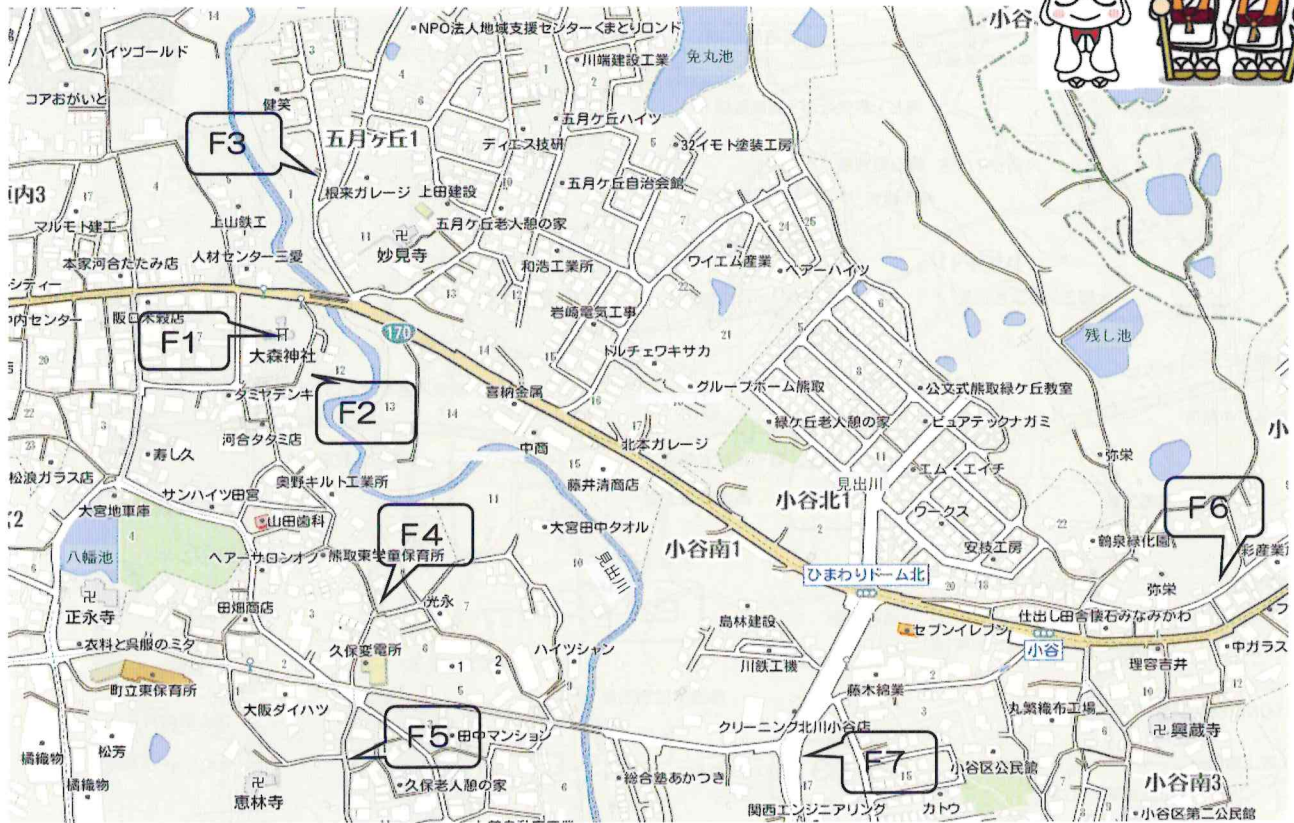
[E4]辻地蔵



お堂には、7体のお地蔵さんが祀られています。



[F] 大宮、久保、小谷地区



[F1] 大森神社の七福神と子安地蔵



境内の東隅にある子安地蔵は、元々大森神社の山中にありましたが、府道の建設等で今の場所に移されました。また、境内の北西奥には七福神が祀られています。

[F2] 道標地蔵



大森神社の東側の壁面にあります。3体のうちの1つは道標地蔵です。

大森神社境内の牛神

非公開ですが、大森神社本殿の傍らに、明治の合祀で移転された牛神があります。



[F4] 久保の地蔵



[F5] 太子堂の地蔵



[F3] 建武地蔵（石造地蔵菩薩立像）



建武4年(1337)につくられた、熊取町で一番古い和泉砂岩製の地蔵石仏です。

[F6] 地蔵

昔の水間街道にあり、水間詣りの人々が道中で詣っていたそうです。



[F7] 辻地蔵

昔の水間街道の辻角にありました。



[G2]老人憩いの家そばの道標地蔵
大師堂と金毘羅講石塔の間にあります。



左	右
高田	大木



左	右
大木犬	日根野



A photograph of a traditional Japanese shrine structure, likely a torii or a small shrine building, with a thatched roof and wooden pillars, situated outdoors.

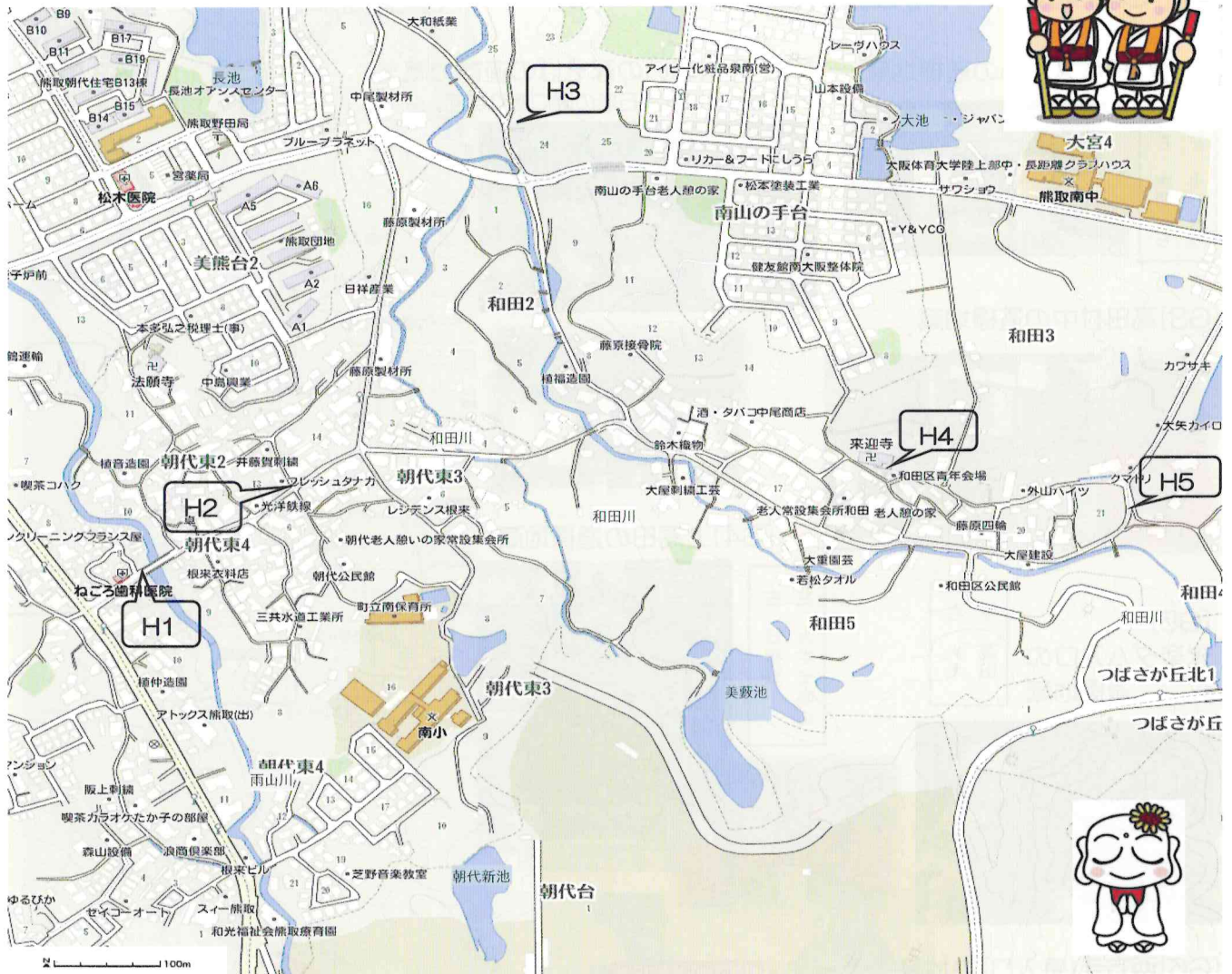


A photograph showing a row of seven small, weathered stone grave markers in a cemetery. The markers are of various shapes, some rounded and some more rectangular, and are set in a bed of gravel. In front of each marker is a small, lit red candle. The background shows green foliage and a wooden fence.

〔番外編〕 永楽池の池守明神
永楽ダムより南東約1.5 km
の所に、約250年前につくら
れた永楽池（ため池）があり、池
のほとりには守り神の池守明神
が祀られています。そして、よ
くみると道標地蔵でもあり、昔
は大木からの郵便配達、経路に
もなっていたため、郵便地蔵と
も云われていたようです。



[H] 朝代、和田地区



[H1] 賽塞地蔵(さいさいじそう)



賽の河原は、塞(さえ・さい)の神とも呼ばれる道祖神の信仰からきています。道祖神(賽の神)は、外敵や厄災の侵入防止、縁結び、安産、子孫繁栄、子供の守り神、交通安全の神様です。

左 右
橋 水間

[H2] 朝代の道標地蔵



[H3] まれくす堂(まれくす地蔵)



まれくすの謂れ(いわれ)は諸説ありますが、一説として、稀なる樟(まれなるくすのき)一幹でお堂を建てたので、この名がついたとの記録があります。お堂の銘文には、享保5(1720)/子3月と刻まれていますので、約300年前に建てられたようです。

[H4] 来迎寺



来迎寺(本堂は重要文化財)境内の東隣に、熊野明神、大師像とともに、7体のお地蔵さんが祀られています。

くまとりにぎわい観光協会 2021
〒590-0403
大阪府泉南郡熊取町大久保中1-17-1
TEL: 072-451-2572



[H5] 和田の道標地蔵



左 右
み なり
ず り
ま あ
ま い
ま あ
ま め
ま や
ま ま

桜の古木の傍らにあります。